
天文教育普及研究会 近畿支部会

日時： 2013年12月1日（日） 10時30分～18時半

場所： 京都大学 理学研究科セミナーハウス

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_n.htm

参加費：無料（お茶、お茶菓子代のカンパをお願いします）

テーマ 「SNS とモバイルツールを天文普及に使いこなそう」

近年、Facebook などのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）の発展は目覚ましく、天文普及に役立てておられる方も多いのですが、使い方がよくわからないという方もいらっしゃると思います。そこで、この機会に SNS やモバイルツールなどの達人や若い方の事例に学び、今後の天文普及活動を皆で盛り上げていきましょう。

*テーマ・セッション 基調講演（2件）

「SNS でつながる！ひろがる！天文普及・教育」

成田 直さん（川西市立北陵小学校）

twitter や Facebook を使って発信することで、これまで接点のなかった人とつながり、それがきっかけとなっていくつかの天文イベントを開催してきた。またイベントの告知や天文現象の紹介など、単に情報の発信ツールとしても活用してきた。それらの事例を紹介しながら、SNS の有用性・活用方法を皆さんと一緒に考えてみたい。

「140文字の天文コミュニケーション」

廣瀬 匠さん（京都大学・星のソムリエ京都）

数ある SNS の中でも天文普及における活用が特に目立つ Twitter を取り上げる。私は4年間に渡り、海外ニュースの翻訳を中心に様々な天文情報をツイートしてきた。メディアとしての Twitter の特性、ツイートに対する反応の傾向、他の発信者に関する情報などを、具体例も交えて紹介したい。

*一般セッション 招待講演

「文化の科学を広め、心を豊かにしよう！」

茶木 恵子 さん（子ども達に星を観せる会）

‘市民の市民による市民のためのサイエンス・カフェ’や、学校、街角、公共施設などでの観望会を通し、科学を身近なものに感じて戴き、音楽や絵画と同じように、科学を文化として楽しんで戴く取り組みの、ご紹介とお誘いをさせて戴きます。

プログラム：

10：30－12：05 一般発表6件 いろいろな天文普及活動 I

挨拶（近畿支部長 中道 晶香）、会場の諸注意（LOC 野上 大作）

玉澤 春史（京都大学 大学院理学研究科附属天文台）

新規層拡大のために：「花山天文台特別公開ウィーク」における新たな試み

竹中 慶一（京都産業大学 神山天文台ボランティアチーム）

学生ボランティアによる神山祭向け天文台公開イベント

小田 大輔（株式会社メシエカード）

天候不順の際の観望会運営について

～天文カードゲーム、メシエカードおよび日食カードの事例～

淡嶋 健仁（骨董屋 Lagado 研究所）

骨董屋×星空教室

和田 浩一（星のソムリエ京都）

プラネタリウムドームにおける星空案内人講座

作花 一志&青木 成一郎（京都情報大学院大学）

「アストロトーク」～ミニ講演と4Dシアター上映

（昼食休憩）

13：00－13：30 招待講演1件

茶木 恵子（子ども達に星を観せる会）

文化の科学を広め、心を豊かにしよう！

13：30－14：45 一般発表5件 いろいろな天文普及活動 II、天文の文化、他

山田 竜也 (株式会社ナスピア／宇宙作家クラブ)

「UZUME Project」におけるアウトリーチでの SOCIAL 活用案の紹介

小高 大輔 (大阪教育大学附属天王寺小学校)

観望会参加体験報告 in Victoria(Canada)

斉藤 秀樹 (長野市立博物館／京都大学 大学院理学研究科)

天文史跡めぐり～明治時代の神戸を歩く～

嶺重 慎 (京都大学 理学部)

ユニバーサルデザイン天文教育活動

西村 一洋 (枚方市立樟葉西小学校)

学校で天文の学習をするのはなぜ？—6 学年アンケート調査より—

(休憩)

15:00-16:00 基調講演 2 件

成田 直 (川西市立北陵小学校)

SNS でつながる！ひろがる！天文普及・教育

廣瀬 匠 (京都大学・星のソムリエ京都)

140 文字の天文コミュニケーション

16:00-16:15 テーマ発表 1 件

前田 昌志&早川 賢&伊藤 信成 (三重大学)

観望会を通じた天文普及活動における SNS の活用と効果の検証

(休憩)

16:30-18:30 一般発表 8 件 学校における天文教育、天体観測など

飯田 広史 (東大阪市立縄手中学校)

縄手中学校・アストロリーダーの活動

西村 昌能 (京都府立洛東高等学校)

授業改革で天文教育

有本 淳一 (京都市立洛陽工業高校)

「宇宙にいちばん近い高校」プロジェクト 2 (仮)

外山 禎彦

日食を描いたパラパラ動画で月の公転を実感
松原 康浩（京都教育大学大学院 理科教育研究室）

宇宙における衝突現象の教材化

砥嶋 郁弥（京都教育大学 理科領域専攻）

測光用反射望遠鏡の開発と冷却 CCD を用いた小惑星の形状推定
伴 巧充（京都教育大学）

時計皿を用いた広視野流星カメラの開発

－Perseids 観測中にとらえた光跡の謎を追う－

蜂屋 正雄（滋賀県立琵琶湖博物館）

琵琶湖博物館における天文分野の可能性

*ポスター発表（休憩時に随時）

小林 仁美（LLP 京都虹光房）

インターネットを使った天文教育～アストロ・アカデミアの事例～

中野 英之（京都教育大学教育学部）

ものづくりを通じた天文の教育普及活動

茶木 恵子（子ども達に星を観せる会）

理カフェ活動の様子（写真集）

【会場の場所】

会場となる京大理学研究科セミナーハウスは、京大の北部構内に
あります。北部構内のマップは

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_n.htm

をご参照下さい。10番の建物がセミナーハウスです。

自家用車で来られる場合は、1番の農学部正門のゲートから、
ご自分でボタンを押してゲートを開いて入ってください。

セミナーハウスや9番の理学部4号館(宇宙物理学教室の入っている建物)
の回りに、白線で区切られた駐車スペースがありますので、そこをご利用
下さい。日曜日は入構や駐車に料金はかかりません。出るときは、
京大農学部前バス停の横の門を通過して出てください。

【京大北部構内までのアクセス】

紅葉の京都は観光客が非常に多い時期ですので、京都駅や阪急 河原町駅、

地下鉄東西線 東山駅からバスやタクシーを利用すると、
乗るまで何十分も待つうえ大渋滞に合う可能性があります。
そこで、京都駅を利用する方は、地下鉄烏丸線に乗り換えて、今出川駅から
市バス 203 系統 「今出川通 銀閣寺道・錦林車庫」行 約 15 分 京大農学部前。

阪急や地下鉄東西線を利用する方は、京阪電車に乗り換えて、出町柳駅 4 番出口から
今出川通に沿って東(鴨川と反対方向)に徒歩 20 分、あるいは
4 番出口すぐの川端今出川バス停で 203 系統か 17 系統のバスに乗って
京大農学部前バス停、というルートが渋滞を避けることができます。

【お弁当のご持参をお勧めします】

日曜日は京大の北部構内の生協&学食は開いていません。付近には
コンビニや食堂も多いですが、混雑する場合がありますので、
お弁当を持参していただくと安心かと思います。

なお、遠くの学食ルネやカンフォーラは日曜日も開いていますが、
そこまで行くなら百万遍の交差点辺りの食堂の方が近いです。

ルネとカンフォーラの場所は↓

http://www.s-coop.net/shop_info/yoshida_west/map_yoshida_west/

【配布物】

天文施設や講座のチラシ、広報誌などを自由に置いていただける机を
用意しますので、配布したい方は当日ご持参ください。

なお、現在の参加申込は 55 名です。

【懇親会】

懇親会は、会場のセミナーハウスから徒歩 3 分くらいの、
キッチン百万遍総本店

<http://r.gnavi.co.jp/kbe4400/>

で、午後 7 時から行います。築 100 年を超える京町屋での鉄板焼き料理、
近江牛、飲み放題付で会費 5,000 円(学生 3,000 円)を想定しています。

--